

日本人は歴史的に謙虚であることを良しとする文化をもっていることから、自己肯定感が低い傾向があり、子供たちが自分に自信をもちにくく、人間関係に問題や様々な不安を抱える環境のなかで、未来に希望をもつことが難しいといえます。乙訓青年会議所は未来を担う子供たちを、人との繋がりを前向きに捉えて、仲間の大切さや自分に自信をもって挑戦する心を備えた、未来を切り拓くことができる人財へと育成していく必要があります。

まずは、ケイジャーズカップでは、選手一人ひとりが練習の成果を出し切り輝いて頂くために、実行委員会と密な連携を取ることで、スムーズな大会運営に繋がります。そして、乙訓文化少年団事業では、子供たちに前向きに挑戦する心をもって頂くために、少し困難な作業でも仲間や大人の協力を得て取り組むことで、仲間とともに何事もやり遂げる自信に繋げて頂きます。さらに、6月オープン例会では、乙訓（まち）の大人に子供たちの健全な育成に必要な道徳心をもって頂くために、子供たちの手本となる大人の在り方を学ぶことで、子供たちが仲間を思いやる心を強くもてる環境づくりに繋がります。また、乙訓DREAMフェスタでは、子供たちに乙訓（まち）との繋がりの重要性を認識して頂くために、地域諸団体と同様のブースをもち、自分たちも運営として活動することで、乙訓（まち）の一部であることを実感して頂きます。そして、防災事業では、頻発化し、想定外の被害を引き起こす災害から子供たちを守るために、災害が起こった際に必要性の高い知識を学ぶことで、防災意識を備えるとともに、共助を率先して行える人財づくりに繋がります。

一年間の青年会議所活動をメンバーが全力で行い、子供たちが成長し、仲間とともに困難に前向きに挑む心を備えた姿に立ち会えることに誇りをもちます。そして、乙訓（まち）の未来を担う人財とともに我々メンバーが、自信をもって明るい未来の創造に繋がります。